

2008年6月19日

株式会社 富士経済
 〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町
 2-5 F・Kビル
 TEL.03-3664-5811 FAX.03-3661-0165
 URL: <http://www.group.fuji-keizai.co.jp/>
 URL: <https://www.fuji-keizai.co.jp/>
 広報部 03-3664-5697

中国の電子機器生産動向・国内市場の調査を実施

2007年の携帯電話生産台数 5億5,200万台、
 DVD記録型ドライブ、LCDモニター、ゲーム機はそれぞれ1億台超

総合マーケティングビジネスの株式会社富士経済(東京都中央区日本橋小伝馬町 社長 阿部 界 03-3664-5811)は、薄型TV、PC、携帯電話機やそれらの部品ユニット・モジュールなどの中国における生産、輸出、国内市場の動向を分析した。その調査結果を報告書「中国電子機器産業・市場の展望 2008」にまとめた。

中国電子機器産業調査は1995年より毎年実施しており、今回の調査では注目セット機器の生産動向、輸出仕向け先地域・供給先の動向などに注力するとともに主要部品ユニット・モジュールの中国生産、供給動向も捉えた。

< 調査結果の概要 >

1. 生産

セット機器の多く(PC・周辺機器、デジタル家電など)は、台湾企業を中心に韓国、欧米、日本の企業が世界市場に供給するために中国を生産拠点としており、中国への生産集中度はますます高まっている。エアコンのように中国ローカル企業の自社ブランド品が世界競争力をつけ、製品供給ベースでは世界市場で中国メーカーのシェアがトップになった品目も出てきている。また、中国国内でのセット機器の生産の拡大とともに、ここ数年は主要部品ユニット・モジュールも中国での生産が拡大している。特に基幹部品である液晶モジュールなどでは、日本、韓国、台湾の主要企業が中国での生産拠点を拡充している。

2007年生産台数上位5品目		
順位	品目	生産台数
1	携帯電話機	5億5,200万台
2	DVD記録型ドライブ	1億2,600万台
3	LCDモニター	1億2,500万台
4	ゲーム機	1億 277万台
5	ノートPC	8,157万台

調査対象セット機器18品目中、携帯電話機が生産台数のトップで2位のDVD記録型ドライブを大きく引き離している。携帯電話機は輸出台数も2位を大きく引き離してトップである。生産台数が多い品目は輸出台数も多く、上位5品目にデジタルスチルカメラ、携帯デジタルプレイヤー、レーザープリンターを加えた8品目の生産台数に占める輸出台数の比率は80%以上となっている。生産台数が5,000万台を超える品目の中で輸出比率が比較的低いのはルームエアコン(生産台数8,100万台、58%)とデスクトップPC(同5,400万台、61%)である。

2. 中国国内市場

液晶TV 2007年 1,720万台 2008年見込 2,365万台(前年比137.5%)

大都市の市場では外資系ブランド製品が市場の主要な地位を占め、特に大画面(32インチ以上)の液晶TVが好調であった。国内メーカーは積極的に中小規模の都市の市場に商品を投入した。北京オリンピックに向けて高解像度液晶TVへの需要が大幅に増加すると見込まれる。2007年は前年比73%増と急拡大しており、2008年も38%増が見込まれる。Hisence、Sharp、Skyworth、TCL、Samsung、Konka、Xoceco、Philipsなどが上位メーカーであるが、中国メーカーをはじめ台湾、韓国、日本、欧米のメーカーが多数参入し競争が激しくなっている。

デジタルスチルカメラ 2007年 700万台 2008年見込 900万台(前年比128.6%)

2007年は800万画素が主流となった。普及率が高まるとともに中低価格商品が主流になり、デザインが重視されている。Canon、Sonyを始めとする日系企業はコンパクトさにデザイン、ボディカラーを追及し、特色ある製品で若年消費者の人気を集めている。Canon、Sony、Nikon、Fujifilm、Olympus、Panasonicなどの日系メーカーとSamsungなど韓国メーカーが上位を占める。Canon、Sony、Nikonの上位3社で市場の50%を占めている。

携帯電話機 2007年 1億1,000万台 2008年 1億2,000万台(前年比109.1%)

農村部でのローエンド機種種の普及、大・中都市での新機種への更新期間の短縮化等の要因により安定して拡大している。また、キャリアのカバーエリアが拡大され、現在ではほとんどの都市をカバーするようになったことも要因のひとつである。2007年の市場は、欧米系メーカー(Nokia、Motorola、SonyEricsson)が53%、中国メーカー(Lenovo、Bird、TCLなど)が26%、韓国メーカー(Samsung、LG)が16%を占めている。中国国内では世界ブランドの機種が増加する傾向にある。5大ブランド機種のほか、スマートフォンのBlackBerry、HP、Dellなどのブランドも進出し、iPhoneの中国市場への進出の可能性も予測される。一方、中国メーカーは自社開発と応用技術を重視するようになり、主要部品の国産化を推進するとともに関連企業の育成を図るとみられる。

<調査対象>

1. セット機器

大型映像 セット機器	液晶TV、プラズマTV、セットトップボックス、DVDレコーダー、デスクトップPC、ノートブックPC、LCDモニター、DVD記録型ドライブ、レーザープリンター、データプロジェクター
中小型映像 セット機器	携帯電話機、携帯情報端末機、携帯デジタルプレイヤー、パーソナルナビゲーション、ゲーム機、デジタルスチルカメラ
その他セット機器	ルームエアコン、携帯電話基地局

2. 部品ユニット・モジュール

大型映像部品 ユニット・ モジュール	TFT-LCDパネル(大型)、TFT-LCDモジュール(大型)、PDPモジュール、薄型TV電源ユニット、薄型TVチューナーユニット、バックライトユニット(大型)、ハウジング(薄型TV用)、デスクトップPC用マザーボード、プロジェクターエンジン
中小型映像部品 ユニット・ モジュール	LCDパネル(中小型)、LCDモジュール(中小型)、タッチパネルモジュール、携帯電話機用プリント回路板、バックライトユニット(中小型)、ハウジング(携帯電話機用)
その他部品	エアコン用コンプレッサー、リチウムイオン二次電池、太陽電池セル、太陽電池モジュール

<調査方法>

中聯富士経済咨询有限公司専門調査員による取材を基本に、公的データ・公表資料等により補完

<調査期間>

2008年3月~5月

以上

資料タイトル:「中国電子機器産業・市場の展望 2008」

体 裁 : A4判 282頁

価 格 : 100,000円(税込み105,000円)

調査・編集 : 中聯富士経済咨询有限公司

富士経済 東京マーケティング本部 第4事業部

TEL:03-3664-5831(代) FAX:03-3661-9778

発 行 所 : 株式会社 富士経済

〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町2-5 F・Kビル

TEL03-3664-5811(代) FAX 03-3661-0165 e-mail:info@fuji-keizai.co.jp

この情報はホームページでもご覧いただけます。URL:<http://www.group.fuji-keizai.co.jp/>

URL:<https://www.fuji-keizai.co.jp/>